

# Apprire



秋田大学広報誌〈アプリレ〉

No. 36  
2012



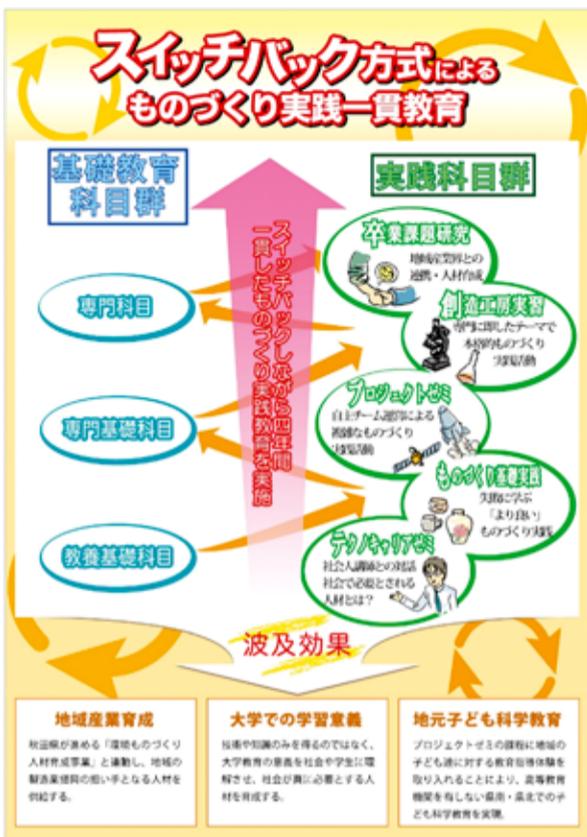
特集

「ものづくり」への挑戦

# 特集 「ものづくり」への挑戦

## スイッチバック方式によるものづくり実践一貫教育

大学院工学資源学研究所 機械工学専攻 教授(前ものづくり創造工学センター長) 土岐 仁



日本の学校教育の特徴は知識の習得を主眼とする教育が中心で、それを活用する実践的な教育が不足しており、学生が主体性を持って学んでいないという点です。これは小学校から大学まで共通した問題点と言えます。知識や技術を有機的に組み合わせ活用する統合力を有した社会に役立つ人材教育が望まれており、そのためには「プロジェクト遂行体験」に基づく実践的な教育が欠かせません。

この理念の下、工学資源学部では平成20年度から表題の工学教育改革を実施してまいります。ここでは、講義による教育科目群はプロジェクトを遂行するために必要な知識や技術を習得する場、実践科目群は習得した知識や技術をプロジェクトを通して活用する場ととらえ、両科目群を交互に行き来(スイッチバック)しながらステップアップしていく教育プログラムとなっており、学生の自主性・創造性を育むことがねらいです。知識の習得と活用を有機的にバランス良く行うことが重要であり、特徴ある授業としては以下のものがあります。

【ものづくり基礎実践】単なる工作や実験ではなく、チーム活動によるものづくりの過程で失敗に学び、より良いものづくり・成果を上げるためにはどうすればよいか、学生独自の工夫の下、複数回の製作・実験を行い、試行錯誤の経験を通して学生の自主性・創造性を育むと共に、これから学ぶ専門科目への興味・関心と学習意欲を喚起することがねらいです。

【プロジェクトゼミ】プロジェクトマネジメント手法に基づき課題設定やスケジュール、組織作り等を行い、高度なプロジェクトを達成するためにはどうすればよいか、学生自身が問題点を発見し仲間と協力して問題解決に挑むことにより、計画力、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力等のプロジェクト遂行力を育成します。

最近、大学教育では、座学による知識伝達型による授業ではなく、学生参加型、課題研究やPBL等、知識の活用を図り、学生の能動的な学習を促す「アクティブラーニング(AL)」が注目されていますが、本教育改革の基本理念と合致していません。民間調査機関の調査結果に

よると、機械工学科のAL導入実績は国立大学中第1位であり、電気電子工学科も高い評価を受けています。また、学生による授業評価では、8割以上の学生が教育内容に満足しており、学習意欲の向上が見られると共に、授業とは別に「学生自主プロジェクト」に積極的に取り組む学生が増えてきており、これらは本教育改革の大きな成果と言えます。

私は田舎の農機具製作所に生まれました。遊び場でもあった工場に行けばたくさん木の切れ端があります。父が作ってくれた学習机、おもちゃなどをまねて、自分でも本箱やおもちゃを工夫して作っていました。貧しくも夢中になれる贅沢なひと時でした。その結果、理科が大好きで「ものづくり」に没頭する少年になりました。今でも教員室に大工道具を持ち込んで、時々木工で細工をしており、ものづくりは、創造性を触発します。

【ものづくり基礎実践】単なる工作や実験ではなく、チーム活動によるものづくりの過程で失敗に学び、より良いものづくり・成果を上げるためにはどうすればよいか、学生独自の工夫の下、複数回の製作・実験を行い、試行錯誤の経験を通して学生の自主性・創造性を育むと共に、これから学ぶ専門科目への興味・関心と学習意欲を喚起することがねらいです。

【プロジェクトゼミ】プロジェクトマネジメント手法に基づき課題設定やスケジュール、組織作り等を行い、高度なプロジェクトを達成するためにはどうすればよいか、学生自身が問題点を発見し仲間と協力して問題解決に挑むことにより、計画力、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力等のプロジェクト遂行力を育成します。

最近、大学教育では、座学による知識伝達型による授業ではなく、学生参加型、課題研究やPBL等、知識の活用を図り、学生の能動的な学習を促す「アクティブラーニング(AL)」が注目されていますが、本教育改革の基本理念と合致していません。民間調査機関の調査結果に

よると、機械工学科のAL導入実績は国立大学中第1位であり、電気電子工学科も高い評価を受けています。また、学生による授業評価では、8割以上の学生が教育内容に満足しており、学習意欲の向上が見られると共に、授業とは別に「学生自主プロジェクト」に積極的に取り組む学生が増えてきており、これらは本教育改革の大きな成果と言えます。

私は田舎の農機具製作所に生まれました。遊び場でもあった工場に行けばたくさん木の切れ端があります。父が作ってくれた学習机、おもちゃなどをまねて、自分でも本箱やおもちゃを工夫して作っていました。貧しくも夢中になれる贅沢なひと時でした。その結果、理科が大好きで「ものづくり」に没頭する少年になりました。今でも教員室に大工道具を持ち込んで、時々木工で細工をしており、ものづくりは、創造性を触発します。

ロケット打上げ前にメンバーと打ち合わせする学生時代の和田助教(右側)



月行われる「子どもものづくり教室」では、ソーラークッカー、傘ラジオ、空気電池、ロケット製作など聞いただけでもワクワクするテーマで、小学生と保護者の方々の製作に没頭する姿があります。学生は、製作指導をすることでキャリアアップしております。

また、「学生自主プロジェクト」と呼ぶアクティブラーニングを実施しております。学生は、自分たちでテーマを考え、予算を獲得して、秋田県のフィールドでもものづくりに挑戦します。これまで学生が挑んだものは、ロケット、エコ発電ヨーグルト、3Dシステム、コーヒータンブラー、ロボコン、ソーラーカーなど、どれもワクワクです。学生は、航空宇宙学会、パテントコンテスト、ものづくりコンテスト、種子島ロケットコンテストなどの大会に挑戦して実質的に日本一の成果を上げました。受賞後も、学生のおごらず謙虚に「まだまだこれからです」と答える姿が頼もしく、成長を実感します。T君は、普通のカリキュラムでは留年して元気をなくしましたが、ロケット作りに目覚めて素晴らしい成果を上げて蘇生し、協力関係にあった小さなベンチャー企業へ見事に就職しました。

秋田には「ものづくり」にふさわしいフィールドがあります。厳しくも豊かなフィールドで、白瀬蘆が生まれ育ち南極を目指し、糸川英夫は日本初のペンシル

ロケットを打上げ、藤田伝三郎は鉱山事業を開始しDOWAホールディングスを、齋藤憲三はフェライトに関するTDKを創業しました。秋田は、やるときはやるのです。秋田大学では、このような秋田の恵まれた歴史と地域フィールドを教育に取り入れ、自主プロジェクトを遂行することにより、先達のようなアドベンチャー型の強い技術者に育成することを目指しており、着々と成果が上がっております。皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

そういう意味では私も学生と一緒に失敗しながら指導しています。学生を見て嬉しさと感じる時はやはりその学生が成長をした姿を見た瞬間です。例えば1年次の頃、材料に穴も空けられなかった学生が、2年次になって新入生に工作方法を教えている姿を見ると成長したなあ、と感じます。私も学生時代、東海大学でロケットを設計製作して打上げるプロジェクトに参加していました。秋田にはその実践の関係で学生の頃からよく来ていました。考えてみればその頃に秋田大学の先生と知り合えたことが今の職にも結び付いているので、私にとつてのプロジェクト活動は自分自身を成長させてくれただけでなく、就職にも役に立ちました。

## 秋田大学におけるものづくり教育について

神谷 修

私は田舎の農機具製作所に生まれました。遊び場でもあった工場に行けばたくさん木の切れ端があります。父が作ってくれた学習机、おもちゃなどをまねて、自分でも本箱やおもちゃを工夫して作っていました。貧しくも夢中になれる贅沢なひと時でした。その結果、理科が大好きで「ものづくり」に没頭する少年になりました。今でも教員室に大工道具を持ち込んで、時々木工で細工をしており、ものづくりは、創造性を触発します。

## 学生自主プロジェクトの担当教員として感じること

助教 和田 豊

現在は主に学生宇宙プロジェクトの活動を指導しています。特に学生と関わる上で気を付けていることは、学生の自主性を尊重する点です。学生がやりたい、やってみよう、と言うことが安全ならばチャレンジをすすめます。その度に学生はよく失敗していますが、その機会を取り上げ、成功ばかりの体験では学生はあまり成長しません。しかし、何も指導をしなければ徐々に学生のモチベーションが下がりが次第にはプロジェクトが進まなくなります。そこで、失敗が続くような時や大きな困難に直面した際は一緒に悩み考え、時にはその場で答えを示すようにもしています。しかし、それをやり過ぎては自主性を失わせますし、放任しすぎてはモチベーションが低下するためそのバランスが最も難しく大変です。

もしこれからものづくりを始めたい、プロジェクト活動に参加してみたいと思っている学生さんには是非チャレンジをすすめます。ただ普通に大学生活を送るだけでは決して味わえない経験をするのが必ずできます。やり始めるには少し勇気がいるかも知れませんが、ほんの少しの勇気を出して飛び込んでもらえれば、かけがえのない体験と経験を積めることをお約束します。

## 平成23年度「学生自主プロジェクト」成果発表会

### 〈優秀賞〉 日本酒BIJINプロジェクト



日本酒を用いた化粧水のほか、甘酒を使用したハンドクリームと乳液の開発に取り組んでいる。

### 〈最優秀賞〉 C-Making AR to 3DCG Modeling



秋田大学3Dマップ化に成功。さらに、キネクトを使用することで3Dマップ製作を、実際に身体を動かしながら感覚的に行うことができるシステムを開発。

## ものづくりと特許

### 特許取得までの手続

産学連携推進機構 知的財産  
部門 講師 若山 俊輔

「特許」とは、新しいアイデアや技術を生み出した者が、特許庁に対して申請手続(特許出願)をすることにより取得できる、アイデアや技術に関する独占権です。

私たちの身の回りを見てみると、携帯電話やパソコン、自動車、医薬品、加工食品といったあらゆる工業製品について特許が取得されています。このように、特許は「ものづくり」と密接な関係にあるものです。いくつか事例を挙げてみると、「ものづくり」により従来になく新しいコンセプトの製品が開発され、

特許が取得された例として、ゼロックス社によるコピー機の特許や、米国のスタンフォード研究所によるパソコン用マウスの特許等があります。また、「ものづくり」により既存の製品の性能を向上するための技術が開発され、特許が取得された例として、大阪の中小企業であるハードロック工業(株)が開発し、NASAのロ

ケット発射台や東京スカイツリーにも使用されているという、非常に緩みにくいネジのナット(商品名:ハードロックナット)の特許が最近話題に挙がっています。秋田大学でも年間30件程度の特許出願を行っています。また、ものづくり創造工学センターの学生自主プロジェクトからも、昨年度の文部科学省等主催のバテント

コンテストに申請したアイデアが優れたものとして表彰され、特許出願を行いました。このように、ものづくりと密接な関係にある特許ですが、権利を取得するためには、特許庁に対する申請手続が必要となります。まず、最初に、アイデアや技術の内容等を記載した書類を作成し、特許庁に提出を行います。この手続を「特許

出願」といいます。次に、「出願審査請求」という手続を行うと、特許庁での審査が始まります。そして、一定の要件が認められた場合に、特許が認められるのは、出願審査請求をしたもののうち半数程度です。特許を取得しても、その権利は特許出願の日から20年が経過した時点で満了します。

ここで、最も注意を要するのは、特許出願を行う前に、アイデアや技術を発表してしまうと、原則として特許が取得できなくなることです。そこで、新しいアイデアや技術が生まれたら、必ず発表等をする前に専門家に相談ください。秋田大学の場合には、産学連携推進機構で相談を受け付けています。

## 学生自主プロジェクト

### 紹介

### KAJIYAプロジェクト



古来の技術における鉄の加工方法を実践。日本の昔ながらの技術を知ってもらえるように作品づくりに励む。

### すもうロボプロジェクト



すもうロボットの製作を通じて、メカニックについてより深く学ぶ。

### 秋田大学ヨーグルト開発プロジェクト



秋田県産の米と大豆を使用し、米ヨーグルトと豆乳ヨーグルトの開発を目指す。平成23年度バテントコンテストの大学部門で入賞。

### 秋田大学学生宇宙プロジェクト



ハイブリッドロケットエンジンのフライトモデルの開発を行う。平成23年10月には、海に向かってロケットを打上げ、海上での回収に成功し、日本の学生団体初の快挙を達成。

### 秋田杉プロジェクト



秋田の伝統素材である秋田杉を現代の加工技術と、従来の職人技を融合させ新たな秋田杉商品の開発を目指す。

### エコ発電プロジェクト



自転車を用いた小容量発電システムを構築。発生した電気エネルギーを蓄えることに成功。

### 秋田大学ソーラーカープロジェクト



「家庭用電源から充電し公道を走行できるソーラーカー」「自然エネルギーを利用したスポーツソーラーカー」の開発を目指す。

# 教育文化学部と 白瀬日本南極探検隊

## 白瀬日本南極探検隊 100周年記念プロジェクト

白瀬隊の開南丸が南極に向けて、東京晴海埠頭を出帆した明治43(1910)年11月28日、南極ロス海一角の大氷原に到達し、付近一帯を「大和雪原(やまとゆきはら)」と命名したのが明治45(1912)年1月28日。私どもは、これらの100周年記念行事を「語り継げ、白瀬の偉業☆夢☆ロマン」のスローガンのもと、佐竹秋田県知事を名誉会長に県民運動として3年間様々なイベントを行ってきました。これらの中心には、かつて南極地域観測隊に参加したことのある秋田大学の卒業生や現職の教職員たち(南極OB会秋田支部)がいました。このプロジェクトの最後は平成24年2月25、26日に、一橋記念講堂(東京)で開催した国際講演会(南

### 教育文化学部との かかわり

白瀬日本南極探検隊100周年記念プロジェクトの集大成として、「日本南極探検隊長白瀬」が平成24年3月に国立極地研究所ライブラリーから刊行されました。生物・植物学が専門である井上正鉄が、専門外の白瀬の探検生涯を書き綴りました。参考とした書物は白瀬が南極から戻った直

### 白瀬 轟について



開南丸甲板上の白瀬轟(1910年)

白瀬轟は、文久元(1861)年6月に現在の秋田県にかほ市金浦、浄土真宗浄蓮寺の長男として生まれました。8歳の時、近所に住む医者で蘭学者の佐々木節齋の門を叩きます。この先生は博識で、鎖国の閉塞した時代醒めやまぬ明治初頭に、外国の様々な情報をも講じていました。

11歳の時に教えられたコロンブスやマゼランなどの地理探検の話に強く感動し、轟は北極探検を志しました。アメリカ人ピアリーの北極点制覇の報により、南極探検に切り換えて、その夢を50歳で叶えました。しかも世界的な探検です。

これは100年前のことで、国際的にはアムンセン、スコットと並んで「南極探検時代の英雄」の一人に数えられています。

この探検の成功が現在も続き、国際的な評価も高い日本南極地域観測隊(JARE)の礎となりました。日本の南極観測の歴史は、秋田で生まれ育ち、勉強した白瀬轟の夢から始まったのです。

後(大正2(1913)年)に発刊された「南極探検」(全400頁)をはじめ、沢山の古書籍です。この白瀬轟を書き綴る際には教育文化学部が有する様々な専門分野の教授陣のお世話になりました。以下に紹介します。



パッタ頂上(映画「南極物語」ではカエル島)、海水のはるか先に白瀬轟に因んだ「白瀬氷河」を望む井上正鉄教授(1986.9.)

教育文化学部  
教授 井上 正鉄  
Inoue Masakane

白瀬隊が日本を発つて南氷洋を航行中にも、南極探検後援会長の大隈重信侯は地方の素封家と思われる人物に宛てて義援金を懇願する内容の達筆な書簡が大隈記念館(佐賀市)で見つかりました。美学・書(芸術)諸学(現名誉教授)に相談すると「何分未曾有の創事業なれば、今なお3万有余圓の借財・・・等々、貴重な解読をいただきました。これまでに明らかにされていなかった事実です。



へその緒がついている、生まれたばかりのウェッデルアザラシの子供と母親(1986.11.)



西オングル島の南の空に浮かぶ「沈まない太陽」(1980.12.14 久保田秀紀JARE21越冬隊員撮影(旧鉱山学部卒業生))

**ご存じですか?**

**放送受信料の 家族割引。**

学生 バンザイ フレー フレー 単身赴任!

**50%割引 家族割引**

学生の方、単身赴任の方など同一生計で離れて暮らす方や別荘・別宅等が対象となります。

<http://www.nhk.or.jp/eigyo/>  
住所変更や契約手続き・支払い方法の変更など  
**0120-151515**  
午前9時～午後10時(土・日・祝日 午前9時～午後8時)

つながる。伝える。  
**NHK 秋田放送局**  
〒010-8501 秋田市東通仲町4-2  
TEL018-825-8111(ハートプラザ)

# 秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター 医学シミュレーション教育で 医療人のスキルアップを目指す



シミュレーション教育センター

秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター（以下、センター）は、秋田県内の研修医や各専門医、コメディカル、秋田県内全体の医療人のスキルアップを目的に、秋田県による支援のもと開設され、平成24年3月15日に完成記念式典を行いました。

センターは鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積1347平方メートル。医学部臨床研究棟と渡り廊下でつながり、施設面積は東北地方の同種施設では最大規模です。

センター内には外科や基本医療手技並びに画像診断

の研修室などが配備され、最新のシミュレーターで内視鏡手術や中心静脈カテーテル挿入のトレーニング、各種画像診断の学習などが体験できます。

実際の病室を再現した緊急処置室も設けており、看護師らスタッフの医療事故防止のための動作確認を行うことができます。

また専門医を目指す医師のために腹腔鏡手術シミュレーターや、産科婦人科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科などの専門領域のシミュレーターも多数配備しています。

また、TVセミナー室で



**臨床専門手技ラボ(3F)**  
経胸壁・経食道心エコー、人工心臓、消化管・気管支内視鏡、中耳手術、眼科手術用双眼倒像鏡、関節鏡手術など各科専門的なバーチャルトレーニングが可能。



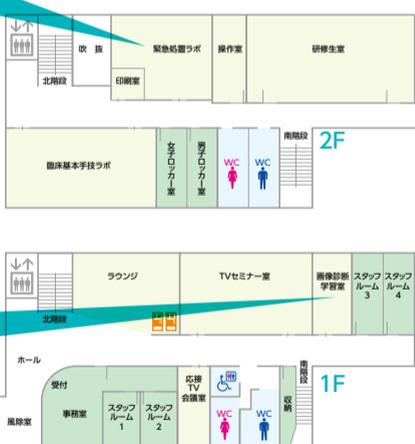
**外科研修室・外科手技ラボ(3F)**  
外科手術シミュレーター学習システム、腹腔鏡手術シミュレーター LapMentor、LapVR等により専門性の高いトレーニングが可能。



**緊急処置ラボ(2F)**  
人体型高機能シミュレーター SimMan3G・SimBodyを配備し、多岐にわたる病態・治療シミュレーションが可能。



**画像診断学習室(1F)**  
マルチスタイル画像システム NV-Light、画像解析シミュレーター VINCENTを導入し、画像診断能力の向上を図る。



腹腔鏡手術トレーニング



消化器内視鏡トレーニング



緊急処置トレーニング

NHK 秋田放送局

春くるくる! NHK



ニュース こまち



総合テレビ  
月曜日～金曜日  
午前11時45分～

総合テレビ  
月曜日～金曜日  
午後6時10分～

総合テレビ  
金曜日  
午後7時30分～

総合テレビ  
土曜日  
午後1時50分～

# 秋田大学工学資源学研究所 資源ニューフロンティア 大学教員育成テニユアトラック制

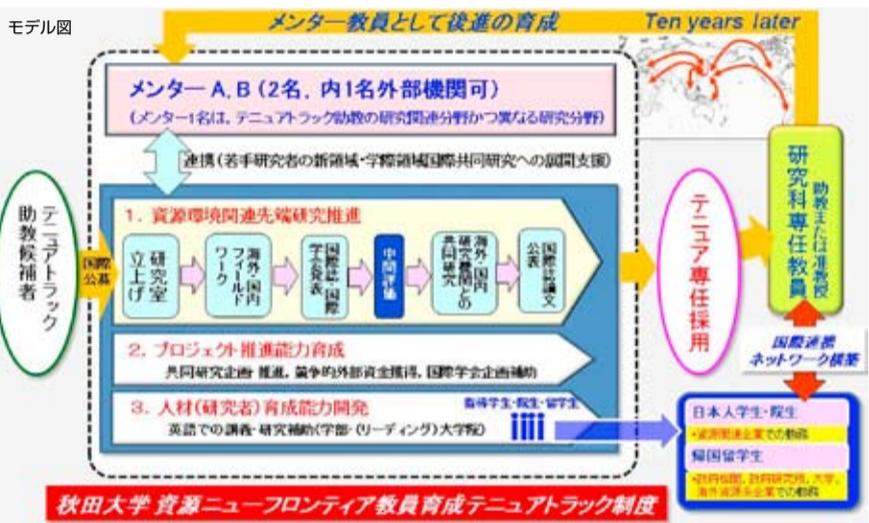
大学院工学資源学研究所  
教授 石山 大三  
Ishiyama Daizo

秋田大学では、文部科学省「テニユアトラック普及・定着事業（以下、テニユア事業）」の採択を契機に、秋田大学テニユアトラック制に関する規程並びに工学資源学研究所教員のテニユアトラック制に関する細則を整備し、テニユアトラック制度を運用しております。

日本のテニユアトラック制は、「公正で透明性の高い選抜により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積むことが出来る仕組み」をい、具体的には、博士号取得後10年以内の若手研究者を対象とし、①一定の任期（5年）による雇用、②公募の実施、③公正透明な選抜、④研究主宰者として自立して研究活動に専念できる環境（研究資金の措置、研究支援体制の充実等）の整備、⑤任期終了後のテニユアポスト（安定的な職）の準備を要件に実施されています。次に、本学の制度を踏まえたテニユア事業による「資源ニューフロンティア」大学教員育成テニユアトラック制についてご紹介いたします。

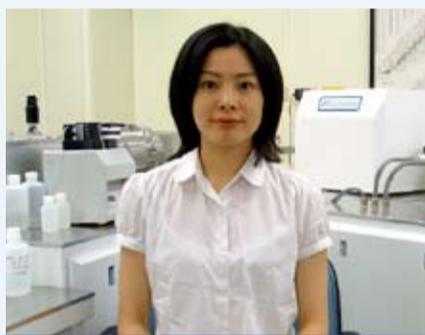
進、競争的外部資金獲得、国際的活動推進の中で育成、人材育成能力の育成、英語等による留学生への留学生への教育の中で育成も併せて行い、将来のメンター教員としての資質を養成し、発展的の人材育成の構築を目標としていることである。これらの活動の中で、テニユアトラック教員が資源分野の留学生や日本人学生と優れた人間関係を築き、資源の安定供給や高度利用に資する持続的資源ネットワークを形成できるよう配慮しています。一方、テニユアトラック教員に対する教育研究に係る環境整備ですが、研究費としてスタートアップ資金が用意されるほか研究スペースが確保され、研究支援体制としてポストドク等が配置されます。

先行大学の事例では、テニユアトラック教員の受賞実績の増加、同教員の科学研究費補助金採択率の向上（テニユアトラック教員/73%、学内の一般教員/36%）などの効果が報告されています。テニユアトラック教員にとつては、①優れた実績を残せば安定的な職が得られる、②十分な研究費が配分されて、自立した研究環境の中で自分の研究に取り組める、③研究以外の業務が軽減されて十分な研究時間が確保できる等のメリットがあります。また、海外の研究機関のポストドクとして勤めている日本人若手研究者が国内で活躍するポストドクの一つにもなっています。今後は全学規程等の整備を踏まえ、より優れた制度の確立を目指して、本制度を運用していくこととなります。



地球上に存在する資源、そして現在の環境は、元素の拡散・濃集の結果と云えます。そこで、様々な地球環境における元素挙動の解明を目指して研究を行っています。鉱床とは資源として有用な元素の濃集場です。元素が濃集するには水やメルトのような流体の寄与が大きく、流体挙動を明らかにすることで、元素濃集のメカニズムを制御できます。そこで、スカルン鉱床形成に伴う流体挙動の解明、海底熱水系における生物活動による元素濃集の評価、未利用資源の資源化等の研究を行っています。

また、日本が位置するようなプレート沈み込みを伴うプレート境界部は、火山や地震が頻発する場となります。これらの現象には、沈み込むプレートに伴い地球内部（地殻内部）に運搬される水の振舞いが大きな影響を与えます。そのため、沈み込むプレート（岩石）の時間的・空間的变化、そして沈み込み帯における水の役割を理解することが課題となっています。



大学院工学資源学研究所  
附属環境資源学研究所センター 助教  
Fukuyama Mayuko  
福山 繭子  
平成23年度に「資源ニューフロンティア」大学教員育成テニユアトラック制で採用された福山繭子助教に自身の研究内容や今後の抱負についてお話を伺いました。

## 2012-2013シーズンブースタークラブ「クラブハピネット」会員大募集!!

お得な特典が満載のブースタークラブ「クラブハピネット」は、秋田ノーザンハピネットを最前線で応援してくれるブースターたちの集まり！キミもクラブハピネットの一員になって、ハピネットを応援しよう!!

特典	プラン	ジュニア	レギュラー	ゴールド	プラチナ
オリジナル会員証		●	●	●	●
先行予約権 (1試合につき4枚まで)		●	●	●	●
先行入場権		●	●	●	●
ステッカー		●	●	●	●
オリジナルバスタオル (2012-2013版)		—	—	●	●
オーセンティックユニホーム半額購入権		—	—	●	●
オーセンティックユニホームプレゼント		—	—	●	●
選手使用 スペックシートプレゼント		—	—	●	●
選手使用 スペックシートネームプレート付き		—	—	●	●
New! 2F自由チケット		1枚	1枚	ペアチケット×1	ペアチケット×1
New! スタンプラリー参加権		●	●	●	●
New! 情報誌「CHマガジン」自宅送付		●	●	●	●
New! メルマガ「ハピネットタイムズ」配信		●	●	●	●
New! オリジナル名刺 (100枚)		—	—	—	—

2012年8月末までにご入会された方には会員証やグッズを開幕戦までにお届けいたします。9月1日以降に入会された方には、順次お送りいたします。

お問い合わせ先 秋田ノーザンハピネット ブースタークラブ事務局 [www.happinets.net](http://www.happinets.net) 専用電話(平日9:30~18:30) ☎050-3536-0577

## サークル紹介

club activities

秋田大学  
報道局  
(AUP)



私たち秋田大学報道局(以下、AUP)は、年に数回発行する学生新聞を主とした活動をしています。大学会館のパソコンの前に我々の新聞が置かれていて、お気づきの方もいらっしゃると思います。内容は学生の目線から身近な話題を中心に取り上げ、大学内はもとより大学外の公共施設にも配布しています。

新聞制作は紙面に載せる記事をどうするかというところから始まり、それぞれが新聞に載せたい話題を持ち寄り、紙面のレイアウトを考へていきます。記事が決まると、個人あるいはペアで取材に出かけます。その行動範囲は学内にとどまらず、市内にも足を運んでメモをとり、写真を撮り、その話題を深く掘り下げていきます。これを基にして各自パソコンで取材内容を文章に起こし、

紙面を実際に組み、発行・配布へと流れていきます。取材や配布といった地道な作業が多いですが、今まで知らなかった人と知り合うことができることは意義のある活動ではないでしょうか。

AUPは新聞だけではなく、毎年10月に行われる大学祭にてミスコンも主催しています。このコンテストでは、運営のすべてを取り仕切ります。候補者を華やかに見せるための工夫や賞品の準備など、あわただしいイベントですが、候補者や観客の笑顔を見る「無事にできてよかった」と何とも言えない達成感に満ちあふれます。また、過去には雑誌の制作やインターネット動画の撮影、さらには各メディアに文章を寄稿することもありました。

このように活動内容は多岐に渡りますが、AUPは部員が少ないため忙しさはつきものです。しかし、少ないことで部員間のつながりが強く、ちょっとした意見でも通りやすい環境にあります。部員の意見から今年の記事を多くするなど、紙面の改造を意欲的に取り組んでいます。

AUPに入って得られるものは、何にも変えることのできない大きな財産になると思います。折角の大学生活を謳歌したい。そう思っている方にAUPの活動は素晴らしい経験を与えてくれるでしょう。

秋田大学報道局(AUP)  
島山 昂大

Column

## 文章力UP



同時にたくさんの人を好きになつてしまった。この際だから、全員に「告白」してしまおう。もし、複数から良い返事がきたら……。ま、その時に考えればいいのか。でも、全員に振られると厳しいなあ……。不謹慎な例ですいません。でも、就職活動前にした学生の心境に似通っていませんか。エントリーシートを提出するのは、意中の一社だ

け。非常に格好いいのですが、実際には複数の企業に応募しますね。A銀行だけでなく、B銀行にも、「本命」があつてもそのライバル企業にもチャレンジする。興味のある業界・職種に挑むのですから、それは当然のことでしょう。でも、エントリーシートはどう書き分けましょう。例えば、業界第一位のA銀行を受ける時には、比較的書きやすいですね。一位には支持されている理由がある。そこを自分なりに分析して、書き込めば良い。①きめ細かな支店網。地域の事情を熟知している。②自己資本比率なども高く、安定した存在。メインバンクに選んでいる地元企業が多い③だから、地域

にあってはならない存在。こんな展開も可能です。加えて自分が初めて持った通帳が、このA銀行。子どもの頃からお年玉を貯金していましたが、ということを加えてもいい。ぐつとA銀行が身近な存在になりますね。では、同時に受験する二位のB銀行にはどんなことを書き込めばいいのか。まさか、第二志望とは書けません。ならばB銀行は、どこでA銀行に「差別化」をしているかを考えてみましょう。例えば、大企業ではなく、地域の中小企業に目を向けているかもしれない。地域の優良企業、特にベンチャー系の企業を応援しているかもしれない。A銀行は「横綱」かもしれ

ないが、B銀行の行員には「挑戦者」ならではの開拓精神があるかもしれない。そんなところをエントリーシートに書き込めたら、B銀行の面接官は「よくぞそこに気がついてくれた。一緒にやろう」と粹に感じるかもしれない。なにせエントリーシートとはある種の「ラブレター」なのです。実は先日、二つの銀行を受験する学生のエントリーシートを読む機会があったので、今回の「お題」の参考にさせてもらいました。その時に気がついたことが二つありました。まず「貴行」という言葉の羅列が気になった。丁寧さを心がけたのでしようが、〇〇銀行と素直に書けばいい。以前にも書いたことがありますが、「御社」「貴行」「貴社」の連発は、相手との距離感を生じさせます。正直いって、嘘くさくなつてしまいます。

あと一つ。受験する企業のHPは読むべきですが、中味を丸写ししているうちは、他の受験生と差がつかえません。つまり「不採用」をせめて、HPを読んで何を感じたのかを盛り込みましょう。

企業のHPには良いことしか書いてないのです。そこに書いてある「社風」「社訓」「社是」に共感した、などという「嘘」は必要です。人の言葉を借りた「告白」は、得てして実を結ばないものです。

秋田大学国際課長  
(元朝日新聞記者)

高橋 康弘

## 平成23年度 秋田大学学生表彰

「秋田大学学生表彰式」が3月9日に行われ、関係者列席のもと、吉村学長から表彰状が授与されました。

この表彰は、学術研究活動において顕著な業績を挙げた学生や課外活動において顕著な成績を挙げた学生、社会活動において社会的に特に高い評価を受けた学生たちを表彰するものです。優秀賞及び奨励賞が授与され副賞が贈呈されました。優秀賞は次のとおりです。



### (学術研究活動)

氏名	所属	業績内容
長内 夏希	教育文化学部	国立美術館で開催された「第85回 国展」彫刻部において入選するとともに、その年最も優れた具象彫刻作品に与えられる賞の「千野賞」を受賞した。

### (社会活動関係)

所属	業績内容
秋田大学ヨーグルト開発プロジェクトチーム (工学資源学部 生命化学科)	平成23年度パテントコンテストの大学部門において入選し、特許出願支援対象となった。
AKITAID (秋田大学復興支援団体)	東日本大震災の被災地復興支援活動(ボランティア活動・派遣活動、義援金募金、被災者支援イベントへの参加等)を行い、また、その活動内容や秋田元気プロジェクトによる被災地を支援してくれた世界の国々に、Tシャツを通じて感謝の気持ちを伝えようという「Thank you for the world」プロジェクトが各メディアにおいて紹介され、社会的にも極めて高い評価を受けた。

### (課外活動関係)

氏名	所属	種目/成績	大会名
医学部男子陸上部		男子フィールド競技 第2位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
医学部女子陸上部		女子トラック競技 第2位 女子総合 第3位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
近江谷 一樹	工学資源学部	男子回転 第1位 男子大回転 第1位	第31回全日本国公立大学スキー選手権大会
川上 森也	医学部	男子走高跳 第1位 男子三段跳 第1位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
鮎川 郁	医学部	女子800m 第3位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
小黑 希理	医学部	女子100m 第3位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
池田 葵 小黑 希理 安藤 いづみ 鈴木 智恵	医学部	女子4×100mリレー 第2位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
小黑 希理 安藤 いづみ 白方 冬美 鮎川 郁	医学部	女子4×400mリレー 第2位	第70回全日本医歯薬獣医学対抗陸上競技選手権大会
金森 啓太 浅井 真成	医学部	男子ダブルス 準優勝	第45回全日本医科学生体育大会 王座決定戦ソフトテニス部門

# 秋田大学への提言

この春、秋田大学で教育・研究を支えた何人かの教員も「卒業」を迎える。いま、時を過ぎた母校に何を思い、何を望むのか。感謝とか感慨の言葉は別の機会に譲り、あえて「去る際の注文」を寄せてもらった。

※3月31日現在の役職



秋田大学理事  
吉岡 尚文

私が関連する部署の事務職員に「責任は私がとるから決めたこと、やらねばならぬ」とは教員と喧嘩してでも妥協はするな、君たちが言えないなら私が言うから」と口にしてきた。

しかし、余りにも摩擦を恐れすぎてか、変化を嫌ってか、なかなか前進しないことが随所に見られたのは残念だ。防衛本能があまりすぎる。大学の活動を行う上で本場に改革が必要と考えるならば教員や上司を気にして具になつては駄目である。この繰り返し若し職員に炎に水を注ぎ、いつの間にか意欲を奪ってしまう。また、職員の人事が場当たり的である。あの人は2年経ったから、この人は同じ職場に3年いたから異動だと言うが、それで人材は育つのだろうか。能力開発室はどのような意図でどのような職員を育成したいのか、毎年行っている人事評価はどのように活用されているのか人事戦略が見えない。

私は学生時代に学芸学部から教育学部への名称変更を経験もしたし、勤務した教育学部が教育文化学部に改組にされたのも目の当たりにした。その間、全国に唯一といわれた鉱山学部も工学資源学部に姿を変えた。教職員も学生も世の転変きわまりない動きと無縁ではありえないことを、在職34年の間特に法人化以降、より強く実感している。しかし、守旧派よろしく懐古趣味に身を委ねるのは控えようと思う。「ローリングストーン、ギャザーズ、ノームス(転石若生さず)」と言っではないか。日本ではこの諺は腰の定まらない中途半端な生き方を批判したものとされるが、もともとは積極的に活動して余計な垢を身に着けないことを教えたものだと思う。



教育文化学部  
教授  
佐藤 稔

はいずれ大学の破綻を招く。

近年、大学の果たす役割として、社会貢献が叫ばれています。もちろん、これらも必要なことですが、大学でしかできない教育、研究を通して、成果を社会へ還元することが最も重要な大学の使命だと思います。最近、大学における研究でも、すぐに社会で役立つような研究が強く要求されているように感じます。しかし、自然科学や工業技術などでのブレイクスルーは、それまで無縁と思われていた基礎的な研究に基づいていることがしばしばあります。下村脩博士の緑色蛍光タンパク質の発見やフレミングによるペニシリンの発見はその好例です。基礎研究による成果は教育と似た面があり、10年、20年先にあってやっとな成果が実るものなのです。世界における日本の産業の地盤沈下を考慮すると、早急に、大学における基礎的研究の充実を図ることが求められています。



教育文化学部  
教授  
濱井 三洋

37年間、主に高分子化学関係の教育・研究に携わり、200名を超す学部学生・大学院学生の論文作成の指導をしてきました。私の経験から、化学の研究はすればするほど単純な現象でもまだまだ分からない事だらけ、その解釈も単なる仮説にすぎないことも多々あります。化学に限らずあらゆる分野で同じようなことがいえると思います。ある仮説をそのまま信じて応用・開発を行えばトライ・アンド・エラーを繰り返すことになりません。このような落とし穴に入り込まないようには、むしろ直接の専門知識だけでなく、関連分野や専門外の知識が役に立つこともあります。現役学生が学べる期間は限られています。また単位上限制度はあるものの、基礎知識や専門科目の修得を自ら拒否してしまふことだけは避けてほしいと思います。秋田大卒業生の社会での活躍をお祈り致します。



大学院工学資源  
学研究所教授  
大谷 規隆



大学院工学資源  
学研究所教授  
川上 洵

昭和49年赴任以来38年間、工学資源学部1号館414室は私の活動拠点であった。この空間は私の研究者人生を支え、また沢山の恵を与えてくれた。心からの謝意を表したい。当時の教育研究環境は十分ではなかったが、志だけ高く世界の最先端の研究推進にあたっていった。度々の学園封鎖を経験した全共闘世代からすると、365日昼夜問わず研究室が使えるだけで十分であった。学生と熱く議論し、そして論文を作成した。論文不採択の通知に悔し涙を流したのもここである。「日暮れて道遠し」の感は免れないが、後にはより若い人に託したいと思う。



大学院工学資源  
学研究所教授  
菊地 賢一

今、秋田大学のキャンパスは綺麗になり環境整備が進み、学内外の企画・行事は目白押しであり、年間の入校禁止日も相当数にのぼるようになった。しかし本来、大学は学術の専門的研究および高等教育を行う機関である。したがって若い人には研究力と教育力の向上を期してそのレジリエンスに期待する次第である。「山高きをもつて尊しとせず、木あるをもつて貴しとす」である。

秋田大学は、小規模な地方大学として特徴のしつかりに成長することが期待されています。大学の活動は高等教育機関として、学習をする者が成長し、大学を巣立った後には社会の中心人物として活躍でき、さらに後輩



大学院工学資源  
学研究所教授  
井上 浩



大学院工学資源  
学研究所教授  
菅原 茂夫

この数年、手形キャンパスの環境整備が進行中で、新たな秋田大学に生まれ変わって行く様子を目の当たりにし、このような環境に囲まれて生活される教職員、学生の皆様がうらやましく感じられます。このようにハードは整備されつつありますので、これからは特に学生の皆様が大学人として行くかが考え、行動して行きますが、決してハードに踊らされることのないように主体的に行動されることを期待しております。また、本学の機能強化のために学部再編に向けて動き出しておりますが、教職員の皆様は本学の将来を見据えて構想を立案され、素晴らしい秋田大学となりますよう祈念しております。



大学院工学資源  
学研究所准教授  
鎌田 真一

の育成を手助けできるような多くの能力を身に付けて、日々成長することを支援できることが大切です。さらにデジタル化により、日々変化している学生や社会の道具にも対応することは重要な要素であると考えます。大学を構成する教職員は、学生から見て何かを持っていてる者であり、学習者の鑑となることが大切で、教育・研究に對してばかりでなく人間的にも、日々精進していることが求められます。それらの期待に応えるような小さな改革を組織としても個人的にも日々重ねていくよう、構成員が考え、協力していくことが大切であると思います。

## 地域に大学力を がんばれ！秋田内陸線

# 秋田大学 分校長 だより

Vol. 02



北秋田分校長  
濱田 純

今回は、秋田大学北秋田分校の取り組みの一つ「秋田内陸縦貫鉄道振興プロジェクト」をご紹介します。

昨年6月から始めた秋田北鷹高校生徒会&秋田大学生によるトレイン・ミーティングを始めとする本プロジェクトは、地元新聞は勿論のこと、全国版のTVワイドショーや「週刊東洋経済」などで取り上げられ、内陸線活性化の気運醸成に一役買っています。

その取り組みで生まれたスタディ・トレイン(高校生の試験期間中に運行する増結勉強列車)は大きな話題を呼んでいます。秋田内陸縦貫鉄道(株)の粋な計らいに地域住民もニッコリ。

さて、そんな中、今年の1月13日、14日に秋田大学の篠原秀一教授・志立正知教授のチームが地域資源の発見・活用をねらいとする沿線調査を実施しました。前日は大雪で氷点下10度以下となりましたが、内陸線は真っ白な雪原を突き進みます。関東生まれの二人の教授は、感動の連続でした。しか



秋田内陸線(秋田内陸縦貫鉄道(株)提供)

し、学者としての冷静な目は沿線の観光資源をしつかりととらえていました。

3月8日、北秋田市役所において、津谷永光市長、内陸線の酒井社長にその結果報告・提言を行いました。今回の調査は第一次予備調査で、4月以降は大学生が入ったの本格調査へとつながっていきます。

秋田大学にこの4月、新たに51名の留学生が加わりました。

今年はソロモン諸島、インド、マレーシア、バングラディッシュ、オーストラリアなど計10カ国の地域の若者が秋田大学へ仲間入りしました。

4月5日にはオリエンテーションを開きました。想像以上に日本語を理解している学生が多く、オリエンテーション中も説明を理解するだけでなく、笑うポイントまでも分かっています。中国の蘭州大学から来た路暢(ろちょう)さん



オリエンテーション、アイスブレーキングで国別リーダーを決める。

本語を一生懸命理解しているところで、ぜひアルバイトをしてみたい。そのアルバイトを通して、正しい日本語をこれから理解できるようにがんばりたい」と語っており、学ぶだけでなく街に出ることも意欲満々学生の若いパワーがひしひしと伝わりました。

実は、抱負を話してくれた路暢さん、秋田に向かう途中、大変な思いをしたようです。ちょうど秋田に向かう日、爆弾低気圧が直撃し、秋田ー東京間の飛行機は欠航。足取りを気にしていると、本人から「乗る予定の



飛行機が欠航ですが、どうしても今日中に秋田に着きたい」との連絡。結果、異国の地にも関わらず新幹線や高速バスを乗り継ぎ、夜中の2時に無事秋田に到着したことを翌日聞きました。臨機応変にトラブルを乗り越える姿は、すでに「国際人」ですね。

3月には、秋田大学の生活を終えた53名の先輩留学生が卒業を迎えています。国際交流センターでは、新留学生51名の門出を、心機一転フレッシュな気持ちで応援していきます。

国際課 宮崎舞

## 国際交流 春の訪れを感じる国際課

オフィシャルファンクラブ

**OLANO**  
おらほ

**1,000円会員新設!**  
一試合無料観戦が付いてくる!

家族で楽しめる **ファミリー会員**

年パス会員 (大人) 通常料金 13,000円 ▶ **12,000円**

年パス会員 (高校生以下) 通常料金 8,000円 ▶ **7,000円**

スタジアムツアーなどにも家族で参加できる!

限定30名 リッチに楽しめる **ダイヤモンド会員**  
年間指定席や駐車場確保権など豪華特典がついてきます

**チケット好評発売中!**

	大人	高校生以下
前売り	1,200円	700円
当日	2,000円	1,000円

※小学生未満は無料です。

以下の店舗でご購入いただけます。

スポーツデポ秋田店  
トビコ・アルス2階 サービスカウンター  
サークルK・サンクス各店  
ローソン各店

### ホームゲーム日程

<b>第12節</b>	<b>5.20</b>	13:00 [SUN]	秋田市八橋運動公園 陸上競技場 vs 横河武蔵野FC	<b>第24節</b>	<b>8.19</b>	16:00 [SUN]	仁賀保グリーンフィールド vs MIOびわこ滋賀
<b>第15節</b>	<b>6. 9</b>	13:00 [SAT]	秋田市八橋運動公園 球技場 vs 佐川印刷SC	<b>第26節</b>	<b>9.23</b>	13:00 [SUN]	秋田市八橋運動公園 陸上競技場 vs V・ファーレン長崎
<b>第17節</b>	<b>6.24</b>	13:00 [SUN]	秋田市八橋運動公園 陸上競技場 vs 栃木ウーヴァFC	<b>第28節</b>	<b>10. 7</b>	13:00 [SUN]	西目カントリーパーク サッカー場 vs ツエーゲン金沢
<b>第19節</b>	<b>7. 8</b>	13:00 [SUN]	西目カントリーパーク サッカー場 vs Y.S.C.C.	<b>第30節</b>	<b>10.21</b>	13:00 [SUN]	仁賀保グリーンフィールド vs カマタマーレ讃岐
<b>第23節</b>	<b>8. 5</b>	16:00 [SUN]	秋田市八橋運動公園 球技場 vs HOYO大分	<b>第31節</b>	<b>10.27</b>	13:00 [SAT]	仁賀保グリーンフィールド vs SAGAWA SHIGA FC
				<b>第33節</b>	<b>11.11</b>	13:00 [SUN]	秋田市八橋運動公園 陸上競技場 vs FC琉球

# ニュース & トピックス

News & Topics

## 「幼稚園教育のあゆみ展」を開催

秋田大学は教育文化学部附属幼稚園の開園100周年を記念して、「幼稚園教育のあゆみ展」をインフォメーションセンターで開催しました。秋田県の幼稚園教育は明治39(1906)年に始まり、明治44(1911)年には初の公立幼稚園として秋田県女子師範学校附属幼稚園(秋田大学教育文化学部附属幼稚園)が開園。平成23年度で100周年を迎えました。

会場には、明治時代の園児名簿や大正時代の出欠簿、ガリ版刷りの学級通信や絵本、紙芝居、ピアノやソリなど約220点が展示され、秋田の幼児教育の歴史を知る良い機会となりました。



## 「冬を楽しむin秋田大学」を開催

秋田大学では冬のイベントとして「冬を楽しむin秋田大学」を手形キャンパス内で開催しました。

このイベントは毎年恒例となっていた正門前のイルミネーションが節電のため実施を見送られたことを受けて、キャンパスの灯りで冬のキャンパスを楽しもうと開催。留学生や学生がミニかまくらやスノーキャンドルなど約400個を製作し、キャンパス内には幻想的な雰囲気になりました。

イベント初日となった2月14日にはバレンタインチョコの配布、翌日には甘酒の無料ふるまいが行われ、キャンパスは学生や教職員、地域の方などで賑わいました。



## 潟上市と連携協定を締結

秋田大学は秋田県の中央部に位置する潟上市と2月17日、幅広い分野で相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的に連携協定を締結しました。

締結式では、吉村昇秋田大学長が「大学と潟上市は距離も近いことから色々な接点を持つことができる。地域づくり活動への協力、防

### Pickup

白瀬日本南極探検隊の大和雪原到達100周年を記念し、東京都立川市の国立極地研究所敷地内にミニユメントが建てられました。

このミニユメントのデザインを手掛けたのは、教育文化学部の石井宏一准教授。石井准教授にミニユメントについてお話を伺いました。

今回、白瀬日本南極探検隊の大和雪原到達100周年を記念したミニユメントのデザインを担当させていただきました。国立極地研究所に設置され、「極光」を名付けられたこのミニユメントは、白瀬中尉の南極探検において、多大な苦勞を背負いながらも、それらをひとつひとつ地道に解決していき、実際に探検を成功させた姿や過程を、ステンレス板材を階段状に積み上げていくことにより表現したものです。

彼の南極への熱い思い、そして探検にかけた強い意志を引き継ぎ、今後南極研究が発展していくよう、ミニユメントには遺伝子のDNAの基本構造である螺旋の形状をもたせました。

なお、現地でミニユメントをご覧になる際は、ぜひその周囲をひと回り歩きながら見ていただきたく思います。多様な視覚効果によって、あたかもオーロラ



が光り輝きながら、その姿を変容させているかのような印象を持たれると思います。もし立川市近辺にお越しの際は、国立極地研究所まで足を運びいただき、ご覧いただければ幸いです。



災・減災計画づくりへのアドバイスなど地域の課題に大学として取り組んでいきたい」と挨拶しまし

た。石川光男潟上市長も「市の将来に欠かすことができない地域づくり・防災という重要課題にともに取り組んでいきたい」と話しました。今後、大学が有する知的・人的資源を提供し、潟上市の地域課題解決や防災・減災対策について協働で推進していきます。

## 教育文化学部の井門正美教授、財団法人科学技術融合振興財団・FOST賞を受賞

秋田大学教育文化学部の井門正美教授が財団法人科学技術融合振興財団(FOST)の第5回FOST賞を受賞しました。



受賞式の様子(右から二人目が井門教授)

同団体はシミュレーション・ゲーミングの研究など、科学と技術との融合を促すような研究協

秋田に根ざし、おかげさまで25年。

25th BRIDGE TO THE FUTURE

ホテルメトロポリタン秋田

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1  
TEL.018-831-2222

http://www.metro-akita.jp/

国産メーカーをはじめ欧米各国から仕入れた上質でデザイン性の高い文具や雑貨を一万点以上ラインナップ。ソファ席でくつろぎながら心行くまでお選びいただけます。

aufheben stationery and sundries

デザイン文具・雑貨 アウフヘーベン

〒010-0913 秋田県保戸野鉄砲町9-58 サンステージ秋田  
TEL 018-853-0533 営業時間 12:00~20:00  
http://www.aufheben-store.com/

力に対し助成などを行うことを目的に設立。2007年度から最も優れた研究者を表彰するためF O S T 賞を実施しています。

井門教授は「市販デジタルゲームの教育への活用とその学習効果に関する体系的研究」を研究課題とし、長年にわたり、18特色G P P や秋大G S 研など秋田大学で体験的学習プロジェクトを実践、研究してきたことが評価されました。

### 平成23年度秋田大学優秀女性研究者表彰

秋田大学で今年度創設された優秀女性研究者表彰の表彰式が行われ、医学部附属病院の森井助教、河村助教、工学資源学研究所の中島特任助教の3名が表彰されました。

表彰式に続いて行われた受賞記念講演では、受賞者が研究と臨床などの業務、子育てや家庭生活の両立について、上司や同僚、家族の理解と協力を得ながらあらゆるサポート資源を活用し、研究の成果を上げることができたことと発表。ま



た今後について、ロールモデルとしての他の若手女性研究者の育成にもあたりたいと抱負を述べました。

### 平成23年度秋田大学卒業式

平成23年度秋田大学卒業式が3月22日、秋田県民会館において挙行され、教育文化、医、工学資源3



学部973名と大学院240名の計1213名が、決意を新たに社会人への第一歩を踏み出した。

式では、吉村学長が各学部・研究科の代表者へ学位記を授与し、「本学で学んだことを遺憾なく発揮され、社会の一員として自覚と責任をもって活躍してほしい」と告辞。これに答え、卒業生 修了生を代表

### Pickup

## 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程修了者第一号、志賀くに子さん

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻の博士後期課程を志賀くにさんが修了し、医学系研究科保健学専攻における博士後期課程修了者第一号となりました。

大学院保健学専攻は、平成19年4月に大学院修士課程(修業年限2年、入学定員12名)を設置(平成21年4月に博士前期課程と改称)。そして平成21年4月には博士後期課程(修業年限3年、



入学定員3名…女性・小児発達支援科学分野、高齢者生活機能支援科学分野を設置しました。平成23年度がこの博士後期課程の完成年度となります。

志賀さんは、日本赤十字秋田看護大学で教員を務められており、専門は母性看護学。この度、妊婦の睡眠障害が、安静時における心臓の自律神経調節機能に及ぼす影響について研究し、習慣的にいびきをかく妊婦の安静

時の心臓の自律神経機能において、交感神経活動が優位にあることを明らかにしました。

志賀さんは「これからも妊婦の睡眠健康の維持という観点から、妊婦の睡眠状態について、機会に応じて積極的に問いかけ、問題を指摘し、看護実践に結び付けられるようにしていきたい」と話しました。

### 平成24年度秋田大学入学式

平成24年度秋田大学入学式が4月5日、秋田県民会館において挙行されました。昨年東日本大震災の影響で入学式が中止となり、2年ぶりの入学式となります。

教育文化、医、工学資源3学部と大学院、計1314名の入学者が夢と希望を膨らませ、新たな生活の第一歩を踏み出しました。

式では、吉村学長が「前を見据え、逆境を乗り越えられる熱意を持ち、未来に向かって歩んでほしい」と告辞を述べ、続いて、入学者を代表して医学部医学科の村上風子さんが「豊かな教養と高度な学術の習得に努め、秋田大学学生としての責任を全うすることを誓います」と宣誓しました。



### 生体情報研究センター 銘板上掲式を挙行



秋田大学は4月18日、生体情報研究センターの銘板上掲式を行いました。

上掲式では、吉村学長が「生体情報研究センターは、平成23年度で終了したグローバルCOEプログラムで得られた成果を継承し、生命科学の先端的な研究を推進するための全学センターとして設置した。秋田大学発の特色ある研究活動に期待したい」と挨拶。続いて、佐々木雄彦生体情報研究センター長が「これまでグローバルCOEプログラムで培った研究人材を含めた成果を進展させ、秋田大学の特性を生かした生命科学の先端的な研究を推進したい。また全学的に関連する研究者が協働できる場となり、国内外の関連機関や研究者とのネットワークの構築などを推進し、研究成果を継続的に発信していきたい」と挨拶しました。その後、吉村学長、西田理事(研究・産学連携・図書館・情報推進担当)、澤田医学系研究科長、佐々木生体情報研究センター長により銘板の上掲を行いました。

**祝** **運転免許取得!!**

# 免許をとったらサティオへGO!!

新車・中古車がいっでもお買いどき!

今なら、ナビ半額サポート実施中!

## ナビ半額

8万円(税込)サポート

対象車種のいずれか1台を新車で購入いただいた方に、日産純正ナビ(MP311D-A/W)を半額サポート!

キューブ

ジューク

ティエダ

ノート

SHIFT\_the way you move

**エコカー補助金のある今がチャンス!**

定休日/毎週火曜 営業時間/AM10:00~PM7:00 <http://www.satio-akita.co.jp>

フリーダイヤル(お客様相談室) **0120-41-2332** 日産サティオ秋田

※チラシ内の料金には登録に伴う諸費用・税金・保険料は含まれておりません ※日産サティオ秋田は自動車保険上級代理店です ※中古車の展示販売もしております



人事異動情報(平成24年1月2日～4月1日)【掲載対象は、部局長・教授以上】

発令年月日	新配置	旧配置	氏名	発令年月日	新配置	旧配置	氏名
役 員				教職員【採用・退職・昇任等】			
平成24年4月1日	監事	再任	渡部 文靖	平成24年3月30日	契約期間満了	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授	神居 隆
平成24年4月1日	監事(非常勤)	再任	小林 俊雄	平成24年3月31日	学長特別顧問(非常勤)へ	理事(教育・学生担当)・副学長	吉岡 尚文
平成24年4月1日	理事(研究・産学連携・図書館・情報推進担当)・副学長	理事(研究・産学連携・情報担当)・副学長	西田 眞	平成24年3月31日	理事(教育・学生・入試担当)・副学長へ	大学院医学系研究科 教授	本橋 豊
平成24年4月1日	理事(教育・学生・入試担当)・副学長	大学院医学系研究科 教授	本橋 豊	平成24年3月31日	定年退職	教育文化学部 教授	佐藤 稔
教職員【部局長等兼務】				平成24年3月31日	定年退職	教育文化学部 教授	濱井 三洋
平成24年4月1日	副学長(評価・社会貢献担当)	大学院工学資源学研究所 教授	中田 真一	平成24年3月31日	定年退職	大学院工学資源学研究所 教授	井上 浩
平成24年4月1日	副学長(国際戦略担当)	大学院医学系研究科 教授	榎本 克彦	平成24年3月31日	定年退職	大学院工学資源学研究所 教授	川上 洵
平成24年4月1日	大学院医学系研究科 教授	学長特別補佐(附属病院担当)	荻原 順一	平成24年3月31日	定年退職	大学院工学資源学研究所 教授	大谷 規隆
平成24年4月1日	副学長(人事適正化・総合技術部・男女共同参画・附属学校園担当)	教育文化学部 教授	池村 好道	平成24年3月31日	定年退職	大学院工学資源学研究所 教授	菊地 賢一
平成24年4月1日	学長補佐(ハラスメント担当)	大学院工学資源学研究所 教授	佐藤 博	平成24年3月31日	定年退職	大学院工学資源学研究所 教授	菅原 茂夫
平成24年4月1日	学長補佐(企画分析担当)	大学院工学資源学研究所 教授	中村 雅英	平成24年3月31日	退職	大学院医学系研究科 教授	石井 良和
平成24年4月1日	学長補佐(知的財産担当)	大学院医学系研究科 教授	杉山 俊博	平成24年3月31日	退職	大学院医学系研究科 教授	柳屋 道子
平成24年4月1日	学長補佐(大学間連携担当)	教育推進総合センター 教授	銭谷 秋生	平成24年4月1日	教育文化学部教授		大橋 純一
平成24年4月1日	学長補佐(地域創生担当)	大学院工学資源学研究所 教授	鈴木 雅史	平成24年4月1日	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授		佐藤 光咲
平成24年4月1日	学長補佐(評価担当)	教育文化学部 教授	上田 晴彦	平成24年4月1日	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授		茂木 達彦
平成24年4月1日	学長補佐(国際交流担当)	大学院工学資源学研究所 教授	今井 亮	平成24年4月1日	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授		八柳 久夫
平成24年4月1日	学長補佐(国際資源担当)	国際資源学教育研究センター 教授	水田 敏夫	平成24年4月1日	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授		神居 隆
平成24年4月1日	学長補佐(男女共同参画担当)	教育文化学部 教授	渡部 育子	平成24年4月1日	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授		石橋 研一
平成24年4月1日	教育文化学部長	教育文化学部 教授	四反田 素幸	平成24年4月1日	教育文化学部附属教育実践研究支援センター 特任教授		斎藤 孝
平成24年4月1日	大学院医学系研究科長	大学院医学系研究科 教授	澤田 賢一	平成24年4月1日	教育文化学部 特別教授		長沼 雅彦
平成24年4月1日	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長	大学院工学資源学研究所 教授	柴山 敦	平成24年4月1日	教育文化学部 特別教授		佐藤 稔
平成24年4月1日	バイオサイエンス教育・研究センター長	大学院医学系研究科 教授	尾野 恭一	平成24年4月1日	大学院工学資源学研究所 教授		三島 望
平成24年4月1日	生体情報研究センター長	大学院医学系研究科 教授	佐々木 雄彦	平成24年4月1日	教育文化学部 教授	教育文化学部 准教授	成田 雅樹
平成24年4月1日	放射線同位元素センター長	大学院工学資源学研究所 教授	田口 正美	平成24年4月1日	教育文化学部 教授	教育文化学部 准教授	三戸 範之
平成24年4月1日	保健管理センター所長	保健管理センター 教授	苗村 育郎	平成24年4月1日	教育文化学部 教授	教育文化学部 准教授	奥山 順子
平成24年4月1日	教育文化学部附属幼稚園長	教育文化学部 教授	遠藤 敏明	平成24年4月1日	教育文化学部 教授	教育文化学部 准教授	三宅 良美
平成24年4月1日	教育文化学部附属中学校長	教育文化学部 教授	佐々木 和貴	平成24年4月1日	大学院医学系研究科 教授	大学院医学系研究科 准教授	石川 隆志
				平成24年4月1日	大学院医学系研究科 教授	大学院医学系研究科 准教授	鈴木 圭子
				平成24年4月1日	大学院工学資源学研究所 教授	大学院工学資源学研究所 准教授	齋藤 嘉一

教育研究プログラム等採択状況(平成24年1月1日～3月31日採択分)

制度名	プロジェクト名	事業期間(年度)	交付金額等(単位:千円)	所属・事業代表者
高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実	“教員養成秋田モデル”発信プロジェクト	24年度	18,150	教育文化学部 教授 武田 篤
平成24年度研究拠点形成事業(B.アジア・アフリカ学術基盤形成型)	資源フロンティア 国際交流によるレアメタル資源学拠点形成	24年度～26年度	24年度配分額 6,040,000	国際資源学 教育研究センター 教授 安達 毅

●アプリーレの由来

「アプリーレ」とは、イタリア語で、「開く、開ける」という意味です。「積極的に秋田大学の窓を開放する」ことを意識して名付けられました。

海外渡航【教職員の外国出張・海外研修】(一カ月以上)

所属・職名・氏名	渡航目的	渡航先国	渡航期間	備考
医学部附属病院 中央放射線部 助教 石山 公一	乳腺画像の勉強と研究	アメリカ合衆国	24.3.7～26.9.15	研修

海外渡航(学生)【学生の海外派遣事業等】

事業名または経費	所属学部等名・氏名	留学先大学名(国名)	渡航期間
秋田大学 学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修 [4年]佐々木 麻実	交換留学／グリフィス大学(オーストラリア)	23.2.15～24.1.17
秋田大学 学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 日本・アジア文化選修 [2年]松田 夕佳	交換留学／蘭州大学(中国)	23.2.19～24.1.20
秋田大学 学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修 [3年]大瀧 遥	交換留学／セント・クラウド州立大学(米国)	23.1.3～23.12.31
秋田大学 学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修 [3年]大塚 寛子	交換留学／龍華科技大学(台湾)	24.2.17～25.1.31
秋田大学 学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 国際コミュニケーション選修 [3年]田口 萌香	交換留学／カリリア大学(イタリア)	24.2.25～25.2.28
秋田大学 学生海外派遣支援事業	教育文化学部 国際言語文化課程 日本・アジア文化選修 [2年]西山 薫	交換留学／ハンバット大学校(韓国)	24.2.28～25.2.28

## 〈催し物〉……………

### 平成24年度 第1回特別展 「飛躍する博物館 (平成23年度活動報告)」

平成23年度における鉱業博物館の活動状況、また10月1日のリニューアルオープン後、新設された特別展示室での新企画の展示や市民開放講座などの様子を紹介します。

- 4月5日(木)～5月20日(日)
- 秋田大学大学院工学資源学研究所  
附属鉱業博物館
- ☎018・889・2461

### 天文台のイベント 「市民のための夜間天体観望会」

- 毎月第1土曜日
- 秋田大学手形キャンパス ☎018・889・2655



平成23年度天文台のイベントの様子

### 鉱業博物館の無料開放

鉱業博物館では5月10日の「地質の日」、5月18日の「国際博物館の日」を記念し、無料開放を実施する。

- 5月10日(木)、18日(金)、19日(土)、20日(日)
- 秋田大学大学院工学資源学研究所  
附属鉱業博物館
- ☎018・889・2461

〈地質の日〉地球生命史、地球環境、自然災害などを理解するうえで重要な「地質」を、多くの人に理解・認知してもらうために、関連学会や団体が発起人となり2007年に制定。  
〈国際博物館の日〉博物館が社会に果たす役割について広く市民にアピールするため1977年に国際博物館会議によって提唱。

### 平成24年度 秋田大学特別コンサート がんばろう東北!～秋田の演奏家による楽しい音楽会～

東日本大震災の復興支援を目的に、秋田県内の演奏家によるチャリティーコンサートを開催する。当日は会場内に東日本大震災義援金の募金箱を設置。そこで集まった義援金は日本赤十字社秋田支部を通じて全額寄付する。



- 【第1回】●5月13日(日)14:00～「夢と希望」
- 【第2回】●7月8日(日)14:00～「愛と絆」
- 【第3回】●10月14日(日)14:00～「勇気と力」
- 秋田大学60周年記念ホール
- 先着250名、入場無料 ☎018・889・2270

### 秋田大学高大接続教育講演会 「初年次教育を考える その2」

高校と大学の接続性を高めることを目的とした「初年次教育」。大学のユニバーサル化に伴い、その重要性が増している。初年次生の状況に詳しい朝比奈なを氏、杉原真晃氏を講師に招き講演会を開催する。

- 5月16日(水)15:40～18:10
- 秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー  
2階大セミナー室
- 参加無料 ☎018・889・3045

### Sound Sketch31 五城目公演

〈演奏〉秋田大学吹奏楽団、五城目第一中学校吹奏楽部、秋田北中学校吹奏楽部

- 5月20日(日)13:00開場、13:30開演
- 五城目第一中学校体育館
- 入場無料 ☎090・8755・0855

### 平成24年度 秋大憩いのコンサート

- 【第20回】●5月27日(日)14:00～  
「天使のパン ポーイ・ソプラノとメゾ・ソプラノの響き」
- 【第21回】●6月30日(土)14:00～  
「日本歌曲の楽しみ  
九十九里/丹沢/くちなし/小さな空 ほか」
- 【第22回】●7月29日(日)14:00～  
「名曲アルバム ワルツ編 ショパン ワルツより/  
J.シュトラウスII 美しく青きドナウ ほか」
- 【第23回】●8月19日(日)14:00～  
「サマーブリーズな午後「アルルの女」より、  
メヌエット/蘇州夜曲 ほか」
- 【第24回】●9月22日(土)14:00～  
「モーツァルト大好き! アンダンテと変奏曲/すみれ/  
バイオリンとピアノのためのソナタ ほか」
- 秋田大学インフォメーションセンター
- 入場無料 ☎018・889・2647



平成23年度秋大憩いのコンサートの様子

## 〈講座・講習会〉……………

### 平成24年度 鉱業博物館市民開放講座

生活に関連する身近な話題から、鉱業博物館でしか聞けない専門的な内容をお届けする。

- 【第1回】●5月11日(金)15:30～16:30  
「秋田鉱専創立の原型  
フライベルク工科大学を訪ねて」  
〈講師〉川上洵 博物館研究員(秋田大学名誉教授)
- 【第2回】●5月16日(水)16:00～16:40  
「真澄と鉱山のデジタル記録」  
〈講師〉成田裕一 秋田大学名誉教授
- 秋田大学大学院工学資源学研究所  
附属鉱業博物館講堂
- 入場無料 ☎018・889・2461

## 秋田大学学生への「教育研究支援基金」 のご協力をお願いいたします。

秋田大学では教育研究の充実発展のため「秋田大学教育研究支援基金」を創設しております。本基金の趣旨をご理解いただき、皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。(詳しくは秋田大学ホームページをご確認ください)

- [http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed\\_fund/index.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)

本基金の趣旨にご賛同し、ご協力いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。寄附金については秋田大学の教育研究、国際交流活動、学生支援等の充実に有効に活用させていただき所存です。今後とも秋田大学の教育研究活動等に対し、格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ご協力いただいた皆様(学外)】(平成23年11月～平成24年3月末)

- (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社秋田支店 様
- (株)ユアテック秋田支社 様
- (株)五十鈴製作所 様
- 伊藤忠テクノソリューションズ(株)札幌支店 様
- 鹿島建設(株)東北支店 様
- 秋田大学生生活協同組合 様
- 瀬下建設工業(株) 様

### 【お問い合わせ先】秋田大学 教育研究支援基金事務局

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 TEL:018-889-2264

## ◆◆著書紹介◆◆

### My Japan and My Akita -Perspectives of International Students at Akita University- 秋大留学生の日本・秋田論 [改訂版]

〈編者〉大学院工学資源学研究所 准教授 坪井ひろみ

本書は、秋田大学大学院工学資源学研究所で研究する留学生が、日本と秋田についてどのように捉えているかをまとめた論集です。彼らの出身国は、インドネシア、ミャンマー、バングラデシュ、パキスタン、ガーナ、ボツワナ、南アフリカ共和国、パプアニューギニア、そしてロシアと実に多様です。日本と秋田の良い点、ちょっと残念な点も率直に論じられており、ソトからの視点に基づいた改善点を示唆する豊富な内容となっています。

初版本(2010年3月)の執筆者9名に1名を加え、さらにデータの一部も更新して改訂版としました。秋田大学附属図書館(本館:手形キャンパス、医学部分館:本道キャンパス)にごございますので、どうぞ一読ください。



## 編集 後記

民間企業から2年前、秋田大学に「編入学」しました。Aprileの編集作業を通じて各学部の

魅力ある教員に出会うことができ、兼務していた危機管理担当を通じて、社会常識と隔絶した「先生」の存在も知りました。どこの組織でも同じでしょうが、いわば玉石混合。これが秋田大学の一つの姿だと思っています。

秋田大学の前身は鉱山専門学校です。地の底に眠る資源を探し出し、採掘し、精製・加工する。限りある資源をいかに活用するか、そして社会に貢献するのかが、そんなことを考えることがお家芸の学校でした。

その歴史、積み上げた経験は今、人(若者・学生)という最も大切なことに注がれるべきなのではないでしょうか。その根幹を見失ったなら、この大学の歴史などは簡単に途切れてしまう。そのぐらい厳しい時代なのだと思っています。

大学を一つの「鉱山」と考えれば、秋田大学の(人的)資源は豊富だと自負しています。リサイクルもいるな、とため息をついたこともありましたが、素敵な鉱脈を発見した時の楽しさは格別でした。

さて、今回の特集は「ものづくり」。キーワードは「挑戦」だと思っています。そして表紙は杜慧さんにお願ひしました。工学資源学部の大学院で学ぶ中国からの留学生です。

私事ですが、企画広報課を離れ、4月からは国際課で「鉱脈探し」を続けています。(高)